

# 永井の不動さま

那珂市

むかし、額田永井(那珂市額田)にやさしい両親とおさよという娘が仲よく暮らしていました。

ところが、おさよは七歳を迎えた春に眼病を患い、手当の甲斐もなく失明してしまいました。両親はたいそう嘆き、なんとか眼が見えるようにしてやりたいものだと思っていました。

ある吹雪の日、おさよの家に年老いた見すばらしい僧侶が一夜の宿を求め尋ねてきました。おさよの家は貧乏でしたが、両親は僧侶を快くもてなしました。

その晩、話をしているうちにおさよの眼が見えないことについて語りだしました。

「ほんのわずかでも、世の中を見ることができたらどんなにいいか」と両親が胸の内をあかすと、気の毒に思った僧侶は祈禱をし、その祈禱の方法を教え翌朝旅立って行きました。



それから、親子で二十一日間欠かさずに祈禱を続けました。

そして満願の夜、夢枕に年老いた高僧が現れ、

「永井の不動の滝の水で朝夕おさよの眼を洗えば、必ず見えるようになるだろう」と告げました。

お告げを信じ眼を洗っていると、しだいにおさよに回復の兆しが見えてきました。ある日ついに、おさよの眼が開き、見えるようになりました。

「父上の顔も、母上の顔も、なにもかも見える」

「おお、眼が見えるか。これも不動明王さまのご利益だ。ありがたい」

両親は喜び、感謝の気持ちを込め不動堂を建て直して寄進しました。

以来、眼を患った村人が不動の水で眼を洗うと不思議と治り、さらには永井の不動さまに祈願すると眼だけでなく、どんな病気にもご利益があるとたいそう評判になったのだそうです。

〈参考文献〉那珂の伝説(大録義行編)



お出かけの際には、周囲の状況等に十分ご配慮いただけますようお願いいたします。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひろく

**ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社**

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>